

# 宇多津町立宇多津小学校

実践事例（関連項目：検証改善プラン②-1）

## 指導の基準を全教職員で共通理解する

目的

集団生活のルールに関する指導の徹底をめざし、指導の基準を明確にして、全教職員が共通理解を図ります。

内容

### ● 指導の基準の作成

現職教育の時間に、全教職員で児童の生活のきまりを見直しました。そして、全校が共通に取り組む重点指導事項を検討し、生徒指導部会を中心に具体的な指導の基準を作成しました。

### ● 基準の意識化

毎月生徒指導5項目の週間を設定し、作成した基準を児童が意識して、よりよい生活をめざせるようにしました。

宇多津っ子をめざそう！！ どこまでできているかな？

	レベル1	レベル2	レベル3	最高レベル4
あいさつ	・相手に聞こえる声で、あいさつを返すことができる。	・仲よしの友達に、自分から目を見てあいさつができる。	・校内で食べた人（他の学年、先生）に、自分から目を見てあいさつができる。	・だれにでも（地域の人など）自分から目を見てあいさつができる。 ・あいさつ運動に遠んで参加しあいさつができる。
ろう下を歩く	・無急に行く時は、ならんで右側を静かに歩くことができる。	・教室移動の時は、ならんで右側を静かに歩くことができる。	・休み時間やトイレに行く時などに、右側を静かに歩くことができる。	・校内では、いつも右側を静かに歩くことができる。 ・ろう下を走っている人に歩かように声をかけることができる。
時間を守る	・チャイムの合図で座に着いたり、そうじ場所に行ったりできる。	・自分の座やそうじ場所でチャイムを聞くことができる。	・○分前行動を心がけて準備を整え、チャイムの合図でいつも授業やそうじを始めることができる。	・○分前行動を心がけて準備を整え、チャイムの合図でいつも授業やそうじを始めることができる。 ・時間を守るように友達に声をかけて行動することができる。
献目清掃	・自分の分担の仕事ができる。	・だまって自分の分担の仕事ができる。	・だまって自分の分担の仕事ができる。	・だまって自分の分担の仕事ができる。 ・校のよごれている場所を見つけて、工夫してきれいにすることができる。
くつのおん	・自分のくつは上でつ、下につに気をつけて、くつ箱に入れることができる。	・自分のくつは上でつ、下につに気をつけて、いつもきちんとそろえることができる。	・自分のくつやトイレのスリッパは、いつも気をつけてきちんとそろえることができる。	・自分のくつやトイレのスリッパは、いつも気をつけてきちんとそろえることができる。 ・そろっていないのに気づいたら、進んできちんとそろえることができる。

また、毎月一度、職員会議で、児童の状況とともに、基準に基づいた指導が徹底できているかを点検し合っています。さらに、レベルアップのための具体的な指導の工夫や指導の基準は妥当か等についても話し合っています。

成果

全教職員が同じ課題に向かって取り組むことで規範意識の醸成の意識が高まりました。児童も〇〇のレベルになろうと具体的な行動目標を持って行動できるようになっています。

## 児童が主体的に生活をつくる児童会活動

### 目的

児童が主体的に提案、行動する児童会活動を推進し、児童がよりよい集団をつくろうとする意識を高めます。

### 内容

#### ● 課題の発見

児童が自分たちの生活を振り返り、課題を発見できるようにしました。生活応援委員会では、話し合いの中から、廊下歩行が全校生の課題だと考えました。

#### ● 改善方法を考えて実践

児童の提案で、まず、全校集会で呼びかけました。また、昼休みに校内安全パトロールを行い、廊下歩行ができている児童を見つけて放送で紹介する活動を続けました。



さらに、アイデアを出し合い、廊下を歩こうとする意識を高めるために、安全歩行証を全校生に配布することにしました。



### 成果

児童が主体的に考え実践することで、模範となる行動をしようとする児童が増えました。また、児童同士できまりを守ろうと声をかけ合う姿が見られるようになっていきます。

#### ◆ 本校におけるその他の取組

- 児童理解を深める「子ども支援委員会」を毎月一度、行っています。生徒指導と特別支援教育の両面から、児童の状況や支援の仕方について話し合い共通理解を図っています。